



2023年 メンテ講座 ユーザー車検

岡野


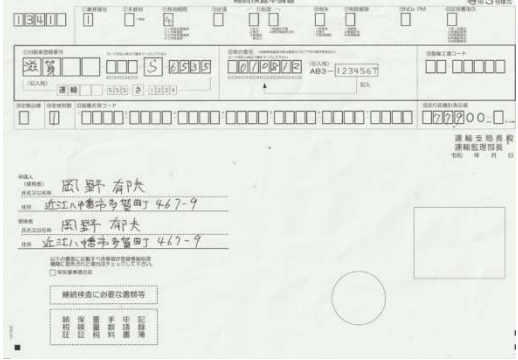

今年メンテ講座の直前に「ユーザー車検をしたいけど出来るだろうか」といった内容がメールマガジンのリストで流れました。そこで今年のメンテ講座はユーザー車検をテーマにしたいと思います。

ユーザー車検の考え方は使用者は保守にも責任を持つ・・ということだと思います。一応事後整備（車検を受けてから、不具合点だけ整備する）も認められてはいますが、やはり事前に自分が出れるところは確認しておき、問題点は整備しておくことが必要だと思います。では始めて行きましょう。

1. ユーザー車検に必要な書類

車検に必要な資料は下記7点です。例は二輪車のものですが、四輪でもほぼ同じです。

準備時期	名称	例	コメント
事前準備	①自動車検査証		車についている 新しいものは半分以下の小さなものに変更されている。
出来れば 事前準備	②点検整備記録簿		無くても「車検」自体は通るが事前に自分で作成しておく方がよい。 無いと車検証に「24ヶ月点検要」などと書かれる。
	③納税証明書		5月に納税した証明書（最近4輪自家用の場合は自治体とデータ連携しているので、なくてもいい場合あり）
	④自動車賠償責任保険		当然、次の2年間以上担保されるもの 当日車検場でも保険に加入できる

当日 入手	⑤自動車検査票		検査結果を記載する。
	⑥継続検査申請書		検査の申請書 ユーザー車検のところに チェック（受験形態＝ 1）を記入する。
	⑦自動車重量税納付書		重量税納付書 お金を支払う窓口で書類 一式見せると、金額を教 えてくれる。

2. 費用

車検の費用は下記3項目です。MG（T、A、B、midgetなど）なら 5万円弱です。

no	内容	区分	金額 (2023年度)	midgetの場合
1	自動車賠償責任 保険	自家用自動車 24か月	17,650円	17,650円
		自家用軽自動車 24か月	17,540円	
2	重量税（抜粋） エコカーは減免 あり	0.5t~1t 13年経過	22,800円	
		0.5t~1t 18年経過	25,200円	25,200円
		1t~1.5t 13年経過	34,200円	
		1t~1.5t 18年経過	37,800円	
3	検査費用	自家用自動車	2,200円	2,200円
		自家用軽自動車	1,800円	
		合計		45,050円

3. 事前点検

先に書きましたが、車検場に行く前に自分の車を整備し、②点検整備記録簿を作成しておきます。点検事項は点検整備記録簿に記載されていますので、順に点検すればOKです。

- 1) パワステや、トルコンのオイルなど、その車に関係ない項目は「/」としておきます。
- 2) CO、HC濃度など専用機器が無いと測定できないものは空欄で問題ありません。ブレーキパッド、ライニングの厚さなど測定できれば書けばいいですが、無理なら空欄でもOKです。
- 3) 冷却水、エンジンオイル、ブレーキオイル、ワイパーウォッシャーなどは減っていないか確認し、必要なら補充/交換しておきます。
- 4) ヘッドライト、車幅灯、ブレーキ、ウインカー、ハザード、バックなどのランプ、ホーン、ワイパー、ウォッシャーなどは正常に動作するか確認して、問題があれば修理しておきましょう。自分で修理できない場合は車屋さんにお問い合わせすればOKです。
特にフォグラмпなど普段スイッチを触っていないランプについて、当日スイッチがわからないと車検が通りませんので、事前にすべてのランプを作動させられるかも確認が必要です。
- 5) ホーンやヘッドランプのスイッチに（絵）文字が記載されていることをチェックされたという話を聞きました。何も記載のないスイッチには表示しておきましょう。
- 6) ウインドスクリーンにシールなど（特にMGのシールなど注意）を貼っているのは違法になります。当然車検は通りませんので、はがしておきましょう。
- 7) シフトノブを交換している場合はシフトパタンの記載があるかチェックが必要です。
- 8) スピードメーターには「km/h」の表示が必要です。手書き、シールでも可。

最後に自動車分解整備事業者の氏名住所のところに自分の住所/名前を記載しておきます。整備事業者の認証番号や指定番号は空欄で問題ありません。

事前点検は必須ではないので、チェックが空欄であっても、「車検」の可否には直接関係ありませんが、自分の車の状況を知っておくという意味があるのだと思います。ブレーキやステアリングなど重要項目で、自分で確認が難しい場合は、車検とは別の機会に業者に見てもらうことで安心できると思います。もちろん事後（車検でNGと言われたら）修理でも構いません。

最後のページに点検整備記録書を添付しています。チェックしてみましょう。

4. 予約

ネットで予約が取れます。初めてのの方はアカウントの登録が必要です。予約、キャンセル、変更も費用は不要です。「車検予約」などで検索すれば下記のHPが出てくると思います。全国の車検場の予約がここからできます。軽自動車は別のサイトになりますが、リンクが張られています。

https://www.reserve.naltec.go.jp/web/ap-entry?slinky__page=forward:A1001_01

予約出来たら予約番号は控えておきましょう。

(最近聞かれることはなくなったが何かあった時、この番号で予約していると言える)

5. 受験申請

検査当日、車検が切れていないか、確認しましょう。車検が切れている場合は仮ナンバーが必要です。

ユーザー車検の窓口に行くと、QRコード読み取り装置がありますので、①自動車検査証の下にあるQRコードを読ませると、⑤自動車検査票、⑥継続検査申請書、⑦自動車重量税納付書 が印刷されます。

必要部分を追記して、別の窓口で費用を支払うと、印紙を貼ってもらえるので、必要書類①～⑦をユーザー車検の窓口に提出すると受付してもらえます。

6. 受験

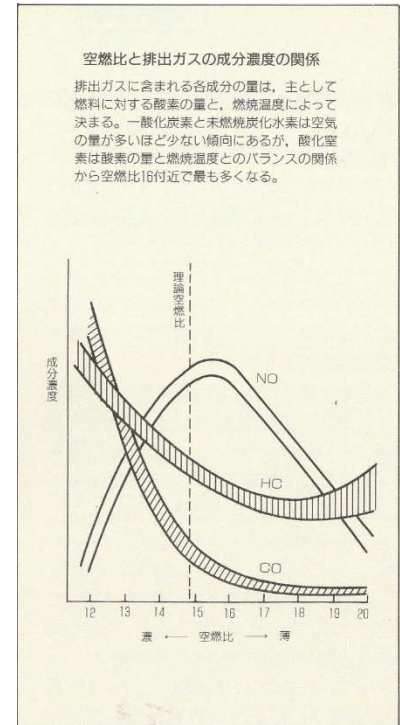
いよいよ受験です。渡された書類をもって検査場に進みます。車検の動画とかがあるので心配なら見ておくと安心です。担当者の方が横についてくれるので、指示に従えば大丈夫です。

- 1) 同一性確認（書類の車体 no、エンジン no などが現物と一致しているか確認する。）
- 2) 車幅灯、ヘッドライト、ウインカー、ハザード、ブレーキランプ、バックランプ、などの灯火類クラクション、ワイパー、ウォッシャー液などの動作確認。また、ミッションパターンが表示されているか、速度表示に「km/h」という表示があるか、操作パネルに警告灯が点灯していないか、フロントガラスに不要なシールが貼られていないかを確認します。

ここからラインに入っていき、以下の検査をします。操作指示が表示されるのでそれに従います。

- 3) サイドスリップ：ハンドルをまっすぐにし、ゆっくりと通過する。

- 4) フットブレーキ、サイドブレーキの確認は計測器に車をセットし、電光表示の指示通りに車を操作するとOKです。
- 5) スピードメータ確認：エンジンをかけてスピードを上げていき、メーター読みで40km/hになったところでパッシングすると判定が出ます。ギアを2速にし、エンジン回転数を上げて、スピードメーターが安定したところでパッシングするのがコツ。
- 6) 光軸確認：以前はLo側でチェックしていましたが最近ではHi側で確認します。古い車でどうしてもLoポジションで検査を受けたい場合は、光軸検査の直前に変更もできます。
- 7) 下回り確認：試験管の指示に従い、ブレーキを踏んだり、ステアリングを操作します。
- 8) 排ガスのCO、HC確認：NGの場合はほとんどが燃料が濃過ぎるので、キャブの調整をします。アイドルリングは少し高め(1500rpm程度)にした方がいい値が出るようです。

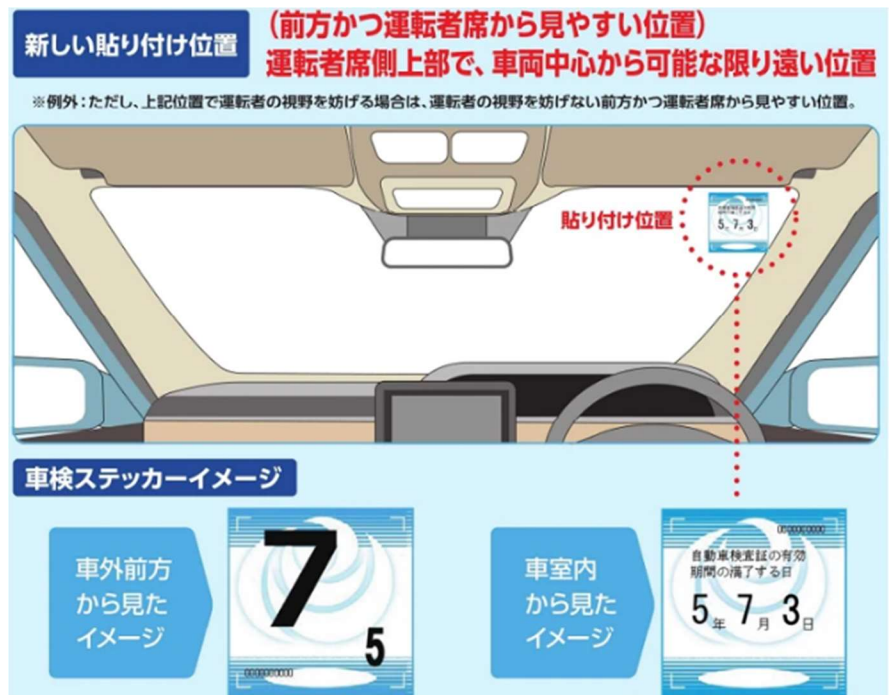


7. 新しい書類の発行

検査がすべて合格になると、⑤自動車検査票 に全項目合格印をもらえます。それを検査終了の窓口で提出すると、新しくなった①自動車検査証と②~④の書類、それに合格のシールをくれます。

2023年7月からシールを貼る位置の指定が「前方かつ**運転席から見やすい位置** 運転席側上部で車両中心から可能な限り遠い位置」(下図参照)に変更になりました。

万が一、不合格となった場合、予約日当日なら3回まで検査ラインに入れます。もし当日受験できない場合は検査費用がもう一度必要となります。(その他の費用は追加不要)



ユーザー車検は誰でも行けます。ユーザー車検で自分の車の健康状態知っておきましょうね。健闘をお祈りしています。

2年定期点検用整備記録簿 分解整備記録簿(写)

★印は1年 5,000km以下の走行距離によって省略できる項目
 ★印は2年 10,000km以下
 ●印は点火プラグが白金プラグ又はイリジウム・プラグの場合は省略できる項目
点検の結果及び整備の概要

依頼者(使用者)の氏名又は名称	自動車登録番号又は車両番号
住所	車台番号

自家乗用	点検良好	交換	調整	清掃	省略	P
分解	修理	締付	T	L	該当なし	

自家用乗用等・別表第6

今回の定期点検は

年

月です。

一来店をお待ちしております。

使用者用

エンジン・ルーム点検

■パワー・ステアリング ベルトの緩み、損傷 ☆取付けの緩み オイルの漏れ オイルの量	■冷却装置 ファンベルトの緩み、損傷 冷却水の漏れ
■点火装置 ☆●スパーク・プラグの状態 点火時期 ディストリビュータのキャップの状態	■燃料装置 燃料漏れ
■バッテリー、電気配線 ターミナル部の緩み、腐食による接続不良 電気配線の接続部の緩み、損傷	■ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置 メタリング・バルブの状態 ブローバイ・ガス還元装置の配管の損傷 燃料蒸発ガス排出抑制装置の配管等の損傷 チャコール・キャニスタの詰まり、損傷 燃料蒸発ガス排出抑制装置のチェック・バルブの機能 触媒反応方式等の排出ガス減少装置の取付けの緩み、損傷 二次空気供給装置の機能 排気ガス再循環装置の機能 減速時排気ガス減少装置の機能 一酸化炭素等発散防止装置の配管の損傷、取付状態
■エンジン 排気ガスの色 CO、HCの濃度 ☆エア・クリーナー・エレメントの汚れ、詰まり、損傷	

室内点検

■ハンドル 操作具合 遊び、がた	■パーキング・ブレーキレバー(ペダル) 引きしろ(踏みしろ) パーキング・ブレーキの効き具合
■ブレーキ・ペダル 遊び 踏み込んだときの床板とのすき間 ブレーキの効き具合	■クラッチ・ペダル 遊び 切れたときの床板とのすき間

足廻り点検

■かじ取り車輪 ☆ホイール・アライメント	■ホイール ☆タイヤの空気圧(スベアタイヤ含む) ☆タイヤの亀裂、損傷 ☆タイヤの溝の深さ、異常な摩耗 ☆ボルト、ナットの緩み ☆フロント・ホイール・ベアリングのがた ☆リヤ・ホイール・ベアリングのがた
■ショック・アブソーバ 損傷、オイルの漏れ	■サスペンション 取付部、連結部の緩み、がた、損傷
■ブレーキ・ディスク、ドラム ☆ディスクとパッドとのすき間 ☆ブレーキ・パッドの摩耗 ディスクの摩耗、損傷 ☆ドラムとライニングとのすき間 ☆ブレーキシューの摺動部分、ライニングの摩耗	ドラムの摩耗、損傷
■ブレーキのマスターシリンダ、ホイールシリンダ、ディスク・キャリパ マスター・シリンダの液漏れ ホイール・シリンダの液漏れ ディスク・キャリパの液漏れ	マスター・シリンダの機能、摩耗、損傷 ホイール・シリンダの機能、摩耗、損傷 ディスク・キャリパの機能、摩耗、損傷

下廻り点検

■エンジン・オイル 漏れ	■エンジン・オイル ☆取付けの緩み、損傷、腐食 ☆進熱板の取付けの緩み、損傷、腐食 マフラの機能
■ステアリング・ギヤ・ボックス ☆取付けの緩み	■ステアリングのロッド、アーム類 ☆緩み、がた、損傷 ボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷
■トランスミッション、トランスア ☆オイルの漏れ、量	■外廻り点検 ■フレーム、ボデー 緩み、損傷
■プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフト ☆連結部の緩み ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツの亀裂、損傷	■デファレンシャル ☆オイルの漏れ ☆オイルの量
■ブレーキ・ホース、パイプ 漏れ、損傷、取付状態	■日常点検 プレーキ液の量 バッテリー液の量 冷却水の量 エンジン・オイルの量 エンジンのかかり具合、異音 低速と加速の状態 ヘッドランプ、ストップ・ランプ、ウインカー等の点灯、汚れ、損傷 ウインド・ウオッシュャ液の量、噴射状態 ワイパの拭き取り状態

その他の点検項目等(特殊な装置)・交換部品	
インバーターの水漏れ	
インバーターの水量及び水漏れ点検	
リヤ・カップキット	2.00
ブレーキオイル	0.50
メンテナンスに関するアドバイス	

●CO、HC濃度(アイドリング時) CO % HC ppm	●タイヤの溝の深さ(1.6mm以上) ●ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ
--	---

前輪	左	mm	右	mm
後輪	左	mm	右	mm
前輪	左	mm	右	mm
後輪	左	mm	右	mm

自動車分解整備事業者の氏名又は名称
 事業場の所在地
 認証番号
 指定番号

点検の年月日
 整備完了年月日
 点検(整備)時の総走行距離 km
 整備主任者の氏名

注:エンジンルーム、室内、足廻り、下廻り及び外廻りの各点検項目は法に定められた項目を示す。

[注] この記録簿は、二年間携行保存して下さい。